

せんきよって何だろう

千両小・3 大井 丞

ぼくの学校の通学路には、ぎ員さんのポスターがあります。毎日見ておぼえました。『やると言ったらやりきる』といういい言葉が書いてある時もあります。

ある日、大きなけいじ板にいろいろなポスターがはつてあるのを見ました。友だちと何かなと思ってお母さんに聞いてみたら、「それはせんきよのポスターだよ。」と言いました。

ぼくは、せんきよって何だろうと思ってニュースを見たら、小さい紙に何かを書いて箱に入れていました。ぼくは、せんきよは人気を決める投ひようなんだと思っていました。お母さんにそのことを話したら、ちよつとわらつてびっくりしていました。お母さんは、「人気を決める投ひようじゃないよ。じゃあ調べてみよう。」と言いました。

次の日、図書館でせんきよの本をかりました。本には、自由みんしゆとうや立けんみんしゆとう、国民みんしゆとう、公明とうなど、たくさんのせいとうというのがあると書いてありました。チームみたいだなど思いました。そのチームで国をよくしていくために、がんばりたいことがちがいます。そのがんばりたいことを聞いて、おえんしたいチームに一びようを入れるといいと思いました。

もし、ぼくが立こうほしたら、めっちゃめっちゃ広い公園を作ります。夏は暑い時が多いのでプールもできるようにしたり、室内で遊べる

場所も広く作ります。大人もゆつくりできるようにカフェとしばふの広場をくつつけます。小さい子だと目をはなすとあぶないから、遊んであげる係の人をつけて、大人がカフェでお茶を飲みながらしばふの広場で遊ぶ子どもを見られるようにしたり、みんなが楽しくできる公園を作ることががんばりたいと言います。

ぼくは、これを考えた時、その公園で楽しそうにしている人というかべました。今回立こうほした人たちも、みんなわらつてほしからいるんががんばりたいことを考えたのかなと思いました。

今回のとよ川市のせんきよは、まい数げん定でスパー投ひよういなりのシールがもらえました。子どもがついていくともらえるシールです。レアなシールだったのでぼくはどうしてもほしくて、お母さんに朝早くからせんきよに行くように、おねがいでいました。ぼくも早起きをしていそいで行きました。きらきらのいなりのシールをゲットしてうれしかったです。

ぼくは、シールがほしくて行つたけど、実さいに投ひようするところを見ることができたのでよかったです。係の人は全せんしゃべつてなくてしずかでした。せんきよの紙を配る人や見守る役の人もいました。せんきよには、立こうほする人だけではなくて、それをおえんする人、お手つだいをする人、せんきよの投ひようの場所で係の仕事をする人、投ひようの紙を数える人などたくさんの人がかかわっているんだと分かりました。これからもせんきよに出ている人たちががんばってほしいなと思いました。

ぼくは、せんきよのことはむずかしくて、まだまだ分からないけどもつと知りたいと思いました。子どもたちがせんきよにきょうみを持ってくれたら、せんきよにもつと人がたくさん来るようになる

と思います。ぼくが十八才になったら、国をよくするためのがんばりたいことの話聞いて、投ひようしたいと思います。